

Interview : 竹中機械製作所様(千葉県)にお伺いしました!

ゼロプラス東日本エリア担当の中里です。

千葉県千葉市にある竹中機械製作所様は、精密機械部品の設計・製作事業を営むと共に、近年ロボットSier事業へと参入されました。今回は竹中機械製作所様が運営する「ロボットサポートセンタ」にお伺いし竹中様の自動化への思いを取材致しました。また、本記事の目玉として、近年新しく展開を始められた竹中様の「ヨルロボセル」についてご紹介致します。

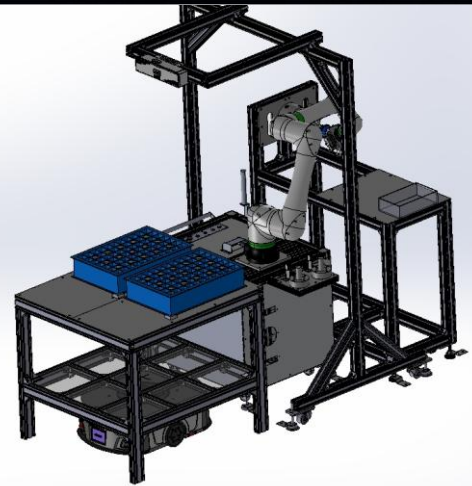
製造業の自動化について

中里:竹中機械製作所様は、2022年に生産現場向けのロボットの設計・構築・導入を支援するSier事業に参入されたと伺っております。どのようなSier事業を展開されているのでしょうか。

竹中様:当社のコンセプトとしては、作業員とロボットが同じ空間で作業可能な協働ロボットの導入を中心に支援をしております。加えて、当社の金属加工技術を活用し、治具の製作まで一貫して対応できることが特徴です。また、当社は先年に事業再構築補助金を活用してロボットサポートセンタを設立しました。こちらは千葉県唯一の施設であり、実際に協働ロボットに触れて試用することができるようになっています。ご要望によっては治具を装着して試用することもできますよ。

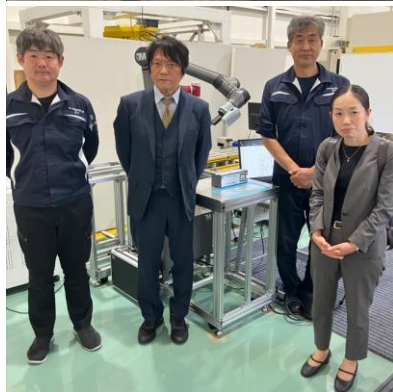
中里:これまでどのような導入支援をされてきたのでしょうか？

竹中様:当社の成り立ちから金属加工関係のロボット導入の支援が得意であり、最も多くのお客様からご相談を頂いています。とはいえ、柵不要の協働ロボットは多くの製造現場から求められる製品であり、食品業界など他の業界からもご相談を頂きます。



中里:竹中様が近年新たに展開されている「ヨルロボセル」はどのような自動化設備なのでしょう？

竹中様:当社が新しく展開しているヨルロボセルは、中小企業でも比較的安価に夜間無人化ができるようになる設備をコンセプトとしています。主に機械加工の事業者様向けの製品であり、円形の加工品でも掴みやすい三つ爪グリッパを採用しています。夜間操業は初めてという事業者様でも広く導入し易いシステムとなっています。オプションの自動搬送ロボット(AMR)の有無によって価格は変わりますが、協働ロボットと合わせて概ね1,000万円ほどで導入が可能であり、コスト面から導入のハードルを感じている事業者様への画期的な製品であると自負しております。当社元来の金属加工技術から治具作成まで一帯となっておりご支援可能です。



中里:ありがとうございます。最後に御社のロボットSier事業の今後と、自動化に関する思いなどお伺いしてもよろしいでしょうか？

竹中様:今後は通常の協働ロボット導入支援に留まらず、協働ロボットのレンタル事業を展開し、導入の高いハードルを更に緩和する事業を広げる計画です。今、あらゆる業界で自動化・省力化を悩まれている方は多いと思います。当社はSierとしての目線だけでなく、金属加工業者として皆様と同じユーザー目線で協働ロボットを提案してきました。だからこそ、導入前の不安を感じるお客様の考えを真に共有しながら支援をしていくことが当社の役目です。「やってみて、動かしてみ、挑戦するのが大事」。今後も現場で一緒に働く皆様の自動化への挑戦をご支援させていただきます。

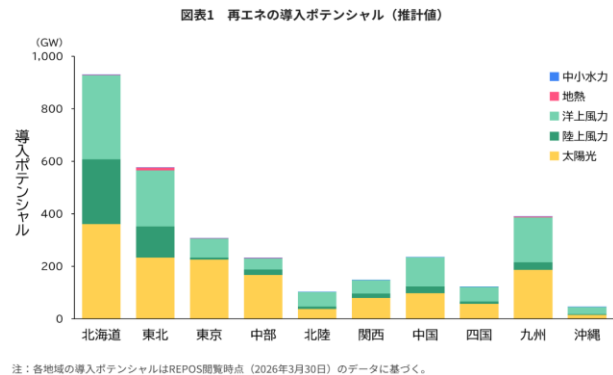


当社HP  ゼロプラスの歴史や理念、事業内容をご紹介します！	カタログ補助金.com  省力化補助金(カタログ注文型)対象設備を簡単検索！	CO2比較.com  脱炭素に関する最新情報を随時公開！	エスゲイマシンの在庫  販売可能な中古機械の在庫一覧です！	Instagram  ゼロプラスの雰囲気や従業員たちの楽しい日常！	公式LINE  大場社長 大場社長 ゼロプラス ゼロプラス 補助金・脱炭素などのお役立ち情報を配信！	問い合わせ先 〒 664-0858 兵庫県伊丹市西台1-5-7 2F TEL 072-764-5340 FAX 03-6800-5265 Mail info@zeroplus-consul.co.jp
--	---	---	--	--	--	---

脱炭素ニュース

現在AIの普及が急速に拡大し、私たちの生活をさらに便利にしてくれる身近な存在となっています。しかし、AIが行う学習や推論には膨大な電力を必要とするため、環境負荷が非常に大きくなってしまおうという問題があります。電力需要の増大は今後も加速することが想定されており、環境省によると、2040年度にはデータセンターによる温室効果ガス排出量が現在の5倍以上になるとされています。

そこで、現在東京や大阪に集中しているデータセンターを、地方に分散させる取り組みが行われています。北海道や東北、九州は再エネの出力抑制が発生してしまうほど、再エネの導入ポテンシャルが高い地域です。こうした電力需要の増加が必要な地域にデータセンターの集積拠点を形成することで、再エネの有効活用を図る狙いがあります。再エネを有効に活用することで化石燃料の削減につながり、CO2排出量の効果的な削減が見込まれています。



危険な重労働から「自動パレット交換」へ！

カタログ補助金に「工作機械用自動ワーク取出し装置」が登場！三和ロボティクス社製「NEXSRT j30」等が対象になるカテゴリです。

従来の人手による重労働(重量物の搬入出や、段取り替えに伴う腰痛リスク)から、安全かつ高効率なオート・パレットチェンジャーによる自動化へとシフト。ボタン一つで確実なワーク・パレットの交換と積載を自動で行います。工作機械のダウンタイムを最小限に抑え、工場の生産性を劇的に向上させます。

※現時点では当製品は登録待ち状況ですが、今後様々な製品が掲載される予定です。



製品紹介は
こちらから！

代表から一言

竹中社長からロボット事業に参入したいというご相談を受けたのはコロナ禍ど真ん中の頃。切削加工業も人手不足が著しくロボット化、自動化を進めないと、将来の事業継続が危ういということでした。切削工場が自分たちの為に開発したロボットシステムを販売するという成功の可能性が高いビジネスモデルを考えていらっしゃいました。

そこで私は、ロボットセンターを開設して拡販するマーケティングを提案しました。事業再構築補助金を利用して千葉県初のロボットセンターは完成しました。当時から展示するロボットの種類も増え賑わっています。これからの人手不足を乗り越えるにはロボットシステムは必須です。

ますますご活躍すること間違いありません。

